

## 第18回 生コンセミナー

### 「生コンクリートの現場を考える」

— 生コン本音でトーク そこまで言っても委員会 —

コンクリート工学年次大会2011(大阪)は、「人と文明を支えるコンクリート～むかしからそして明日も～」をテーマに、本年2011年7月12日(火)～14日(木)に大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開催されます。

年次大会の重要な行事の一つである「生コンセミナー」は、初日の午後に行なわれます。本年のテーマは、「生コンクリートの現場を考える」とし、生コンクリートの製造・施工における重要で切実な問題である次の5つの話題について、それぞれの問題提起のあと、各分野の方に本音で語り合っていただくセミナーを企画しました。

- 「生コンは1.5時間以内に現場に到着できればよいのではないか」
- 「スランプ値は施工性から設定すればよいのではないか」
- 「環境のためにもスラッジ水をもっと利用してはどうか」
- 「暑い夏に35℃を超えたコンクリートでも出荷、施工できる」
- 「ひび割れとコンクリートの乾燥収縮をどう考えるか」

ご登壇いただく方は下記の10分野から総計30余名の方々です。

- ①生コン製造、②施工、③設計、④監理、⑤発注者、⑥圧送、⑦試験代行、⑧混和剤、⑨試験機関、⑩学識経験者

本音で語り合うことで問題を真に理解し、共通の認識で一体となって、人を支えるコンクリートを目指したいと思います。

生コンの製造者や建設関係の方をはじめ各分野の方に、本セミナーに奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

コンクリート工学年次大会2011(大阪)  
実行委員会委員長 宮川 豊 章  
生コンセミナー部会長 大野 義 照

## 第18回 生コンセミナー プログラム

2011年7月12日(火) 13:00～17:00

### テーマ

### 「生コンクリートの現場を考える」

— 生コン本音でトーク そこまで言っても委員会 —

コーディネーター：藤本 泰久 (大阪兵庫生コンクリート工業組合)

#### 開会の挨拶、趣旨説明

13:00～13:10

- 生コンセミナー部会長 大野 義 照 (大阪大学名誉教授)

#### テーマⅠ 「生コンは1.5時間以内で現場に着いたらええやん」 13:10～13:50

話題提供：栗延 正成 (大阪広域生コンクリート協同組合技術部)

- 討 論

#### テーマⅡ 「スランプの設定は、ほんまにいるん？」 13:50～14:30

話題提供：山崎 順二 ((株)浅沼組技術研究所)

- 討 論

#### テーマⅢ 「何でスラッジ水はあかんの？これは環境問題なんやで！」 14:30～15:10

話題提供：村田 浩綱 (京都生コンクリート工業組合)

- 討 論

#### 休憩

#### テーマⅣ 「暑い夏、35℃超えての持帰りは、かんにんしてや！」 15:25～16:05

話題提供：前田 朗 (大阪広域生コンクリート協同組合技術部)

- 討 論

#### テーマⅤ 「コンクリートのひび割れってどうなん？」 16:05～16:45

話題提供：岩清水 隆 ((株)竹中工務店大阪本店技術部)

- 討 論

#### 閉会の挨拶・講評

16:45～17:00

- 生コンセミナー部会長 大野 義 照 (大阪大学名誉教授)